

【企画もの】

百円均一ショップ3社の シャープペンシル比較

《調査動機》

文房具は文具店で文具メーカーのものを買う、というのが私の中では当たり前だったのだが、別の目的で百均に行ったところ百均店内の文具コーナーがかなり充実していることを強く感じた。そこで百均の文房具の中でも、特に今回私が論考で取り上げたシャープペンに絞って取り上げようと思う。今回は、大学の近隣にあるダイソー・キャン★ドゥ・セリアの3つの百円ショップで販売していたシャープペンをすべて購入し、品ぞろえやシャープペン本体の性能について調査した。

《購入商品一覧：購入店別》 ※金額はすべて100円（税抜き）

ダイソー（DAISO、近鉄奈良駅前店）

- ①【大創産業】極細ボディシャープペン（金属製、手帳用）
- ②【大創産業】自動繰り出しシャープペン
- ③【大創産業】六角アルミボディシャープペン
- ④【大創産業】太軸グリップで書きやすいシャープペン
- ⑤【大創産業】コーティングシャープペン（2本）
- ⑥【大創産業】ラバーグリップシャープペン（替芯10本付）
- ⑦【大創産業】パステルカラーシャープペン
- ⑧【大創産業】MECHANICAL PENCIL Knock&Shake シャープペン
- ⑨【大創産業】シャープペン（替芯10本付）
- ⑩【プラチナ万年筆株式会社】グラマー オ・レーヌシャープペン
- ⑪【プラチナ万年筆株式会社】サイドノックシャープペン



キャン★ドウ (Can★Do、もちいどの店)

- ⑫【プラチナ万年筆株式会社】芯が折れにくいシャープペン (オ・レーヌシールド)
- ⑬【プラチナ万年筆株式会社】POLYSTER 0.3mm さんかく軸のシャープペン
- ⑭【ゼブラ株式会社】ジムメカ (パイプスライド方式)
- ⑮【ゼブラ株式会社】Tapli clip (パイプスライド方式)
- ⑯【SUGATA】シャープペン (替え芯3本付、芯の太さ2.0mm)
- ⑰【株式会社サクラクレパス】GROSSO シャープペンシル



セリア (Seria、ビエラ奈良店)

- ⑱【プラチナ万年筆株式会社】OLEeNU SHILD シャープペン
- ⑲【ゼブラ株式会社】Tapli clip (パイプスライド方式)
- ⑳【サンノート株式会社】シャープペン (2mm 芯B替芯9本付)



※補足 1：⑮と⑲は同じ商品。⑫と⑱は同じ商品だが、⑫は販売元が Can☆do である。

※補足 2：購入した商品は店頭に並んでいたもので、品切れになっていたものは含まない。

《店頭で感じたこと》

ダイソーは自社製品の取り扱いが多く、製品の種類も豊富である。一方、キャン★ドゥは複数の会社の製品を取り揃えていた。セリアはシャープペンの品揃えは少ないが、文具コーナー全体を見たところ、シャープペン以外の付箋やはさみなどの文房具には力を入れているように思う。

《使いやすさ比較》

個人的ではあるのだが使いやすさには重さと握りやすさ（太さ）、折れにくさの3つの要素があると考えた。そこで上記 20 種のうち普段使う 0.5 mm のものに絞って（⑬⑭⑯は省く）、シャープペン本体の重さ・ペンの持つ場所の直径・書いた時の折れにくさ評価の3つを検証した。

番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
重さ(g)	8	8	9	14	13	9	16
直径(cm)	2	3	2.5	4～4.5	3	3	2.5
折れ評価	△	○	△	○	△	○	×

⑧	⑨	⑩	⑪	⑫⑱	⑭	⑮⑲	⑰
15	9	11	8	9	9	11	12
4	2.7	4	3	3.5	3	3	4.5
○	×	◎	○	◎	○	○	○

※重さ平均約 10.73 g、直径平均 3.38 cm

《調査結果》

重すぎるものは長時間使うと手の負担が大きく、9 g 程度のものが一番手になじみやすかった。また、直径が短い（＝細い）ものは重心がぶれやすく書きづらく、直径が長い（＝太い）ものは握りこむのに力が必要で、特に私のような手の小さい人には合わないなと感じた。細すぎず太すぎない 3～3.5 cm 程度のものが一番書きやすかった。大創産業のものは折れやすさは商品によって様々だったが、プラチナ万年筆株式会社やゼブラ株式会社などの文具メーカーのものはどの商品も芯が折れにくく、特にプラチナ万年筆株式会社のオ・レーヌ商品は折れにくかった。

私が長年使っているクルトガのシャープペンが重さ 9 g・直径 3.5 cm であることから、同じ重さ・直径の⑫⑱：オ・レーヌシールド【プラチナ万年筆株式会社】が一番使いやすかった。

《終わりに》

百円ショップにはダイソーのように独自につくった文具が多いイメージだったが、実際には文具メーカーがつくった商品も多数あり、ダイソー、キャン★ドゥ、セリアで共通して販売されている商品もあることを知れた。これはあくまで個人的な意見だが、百円ショップ独自商品（大創産業）よりも百円ショップで販売している文具メーカーの商品（プラチナ万年筆株式会社、ゼブ

ラ株式会社など)の方が、シャープペンに関しては高品質であった。私が普段使用しているクルトガは 500 円前後のものだったが、今回オ・レーヌシールドを使ってみるとかなり手になじみやすく、100 円(税抜き)とは思えないほどだったため、今後は百円ショップで販売しているシャープペンも積極的に使っていきたい。

■本稿書誌情報■

(本稿は無記名原稿)

『文具に関する論考と企画：奈良女子大学文具ゼミ 2020』

〔2020 年度「文化社会学演習」WEB 版報告書〕 <https://bunyu-narajo.org/>

2020 年 8 月 1 日 編集・発行 国立大学法人奈良女子大学文学部

人文社会学科文化メディア学コース 小川伸彦研究室編

〒630-8506 奈良市北魚屋西町 E-mail ogawanobuhiko@cc.nara-wu.ac.jp